

令和元年 7 月 5 日

報道機関 各位

第13回「人文知」コレギウム

マルチモーダル・ミュージッキング(文化人類学 野澤豊一)
「人間の安全保障」から見たヒトの移動—中米の場合(国際関係論 竹村 卓)

富山大学人文学部は、学部教員による研究会「人文知」コレギウムを定期的で開催しております。富山県の「人文知」の拠点として、人文研究のさらなる高みを目指して、様々な分野の教員が集い、相互に研究交流を図ります(※「コレギウム」は「仲間たちの集い」という意味)。

来る7月31日(水)はその第13回となります。今回は、野澤豊一(文化人類学・准教授)「マルチモーダル・ミュージッキング—米国黒人教会における音楽する身体—」、竹村 卓(国際関係論・教授)「「人間の安全保障」から見たヒトの移動—中米の場合—」の2名の発表となります(詳細は、別添チラシをご参照ください)。なお、本研究会は、一般の方や学生の聴講も可能ですつきましては、取材・報道方よろしくお取り計らい願います。

開催日時：令和元年7月31日(水) 13時30分～15時30分

会場：人文学部3階第6講義室

【本件に関する問い合わせ先】
富山大学 人文学部総務課
TEL. 076-445-6131

第13回「人文知」コレギウム



2019年7月31日（水）13:30-15:30
富山大学人文学部3階第6講義室

マルチモーダル・ミュージッキング

——米国黒人教会における音楽する身体

野澤豊一（文化人類学・准教授）13:30～14:30

米国黒人教会の音楽文化は20世紀大衆音楽の源流の一つとして知られているが、実際にフィールドワークをしてみると、礼拝儀礼のなかで「音楽」が上演される場面は比較的少ないことがわかる。その一方で、礼拝儀礼に生気をもたらすために音楽は欠かせない。こうした状況を理解するために、本発表では「ミュージッキング」という概念を使ったアプローチを紹介する。

「人間の安全保障」から見たヒトの移動

——中米の場合

竹村 卓（国際関係論・教授）14:30～15:30

2018年10月「キャラバン」と呼ばれる人々が、中米Central Americaから主に徒歩で米国を目指し、瞬く間に数万人の規模となって米国とメキシコの国境に迫った。同年4月から中米のコスタリカには、隣国のニカラグアから数万人以上の人々が国内の混乱を逃れて押し寄せている。この中米をめぐる「ヒトの移動」を、「人間の安全保障」の観点から、考えてみる。